

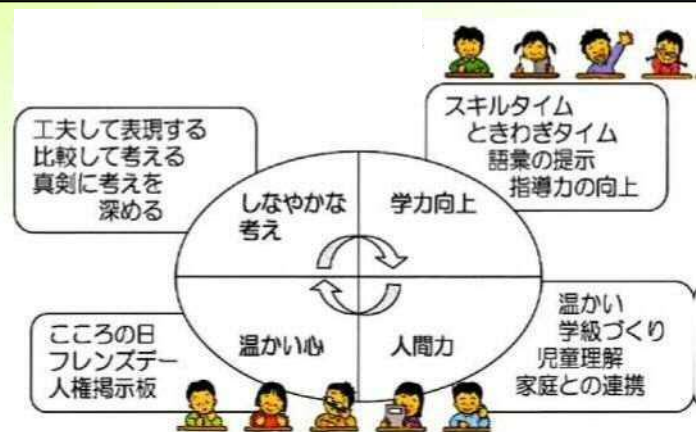
学校評価アンケートの結果について

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。常磐野小学校では、毎年2回、保護者の皆様・児童による「学校評価アンケート」を実施しています。第2回の学校評価の結果をまとめましたので、ご報告させていただきます。保護者の方には主にご家庭での働きかけ(一部は適度やお子様の実現度)をご回答いただきました。後期のアンケートは、前期との比較ができるように質問の文言を同じにしています。保護者の皆様から頂きましたアンケートや児童によるアンケートをもとに、本校の取組やこれからの子育てについて、学校教育目標の目指す子ども像や目指す学校像の視点から考察を行いました。

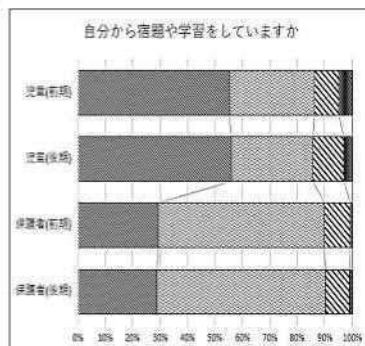
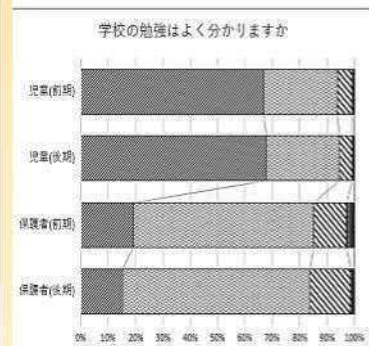
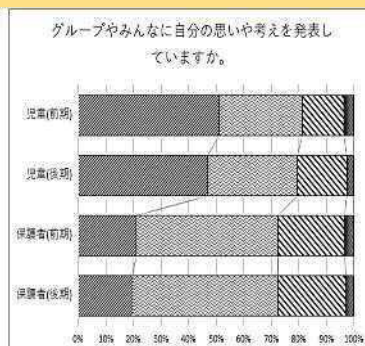
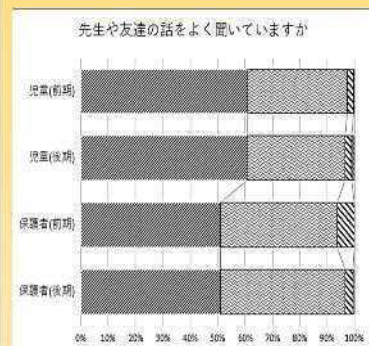
学校教育目標 ～次世代を生き抜くために～

「しなやかに考え 温かい心を持ち
人間力の豊かな子を育成する」

ときわののこ
友達も自分も大切に
きまりを守る子
わかった、できたを目指す子
のびのびと元気な子



確かな学力の育成について

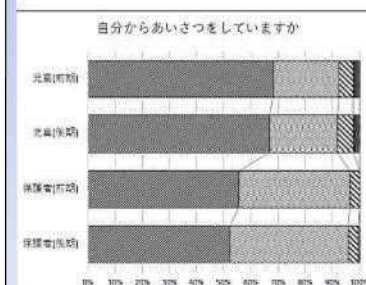
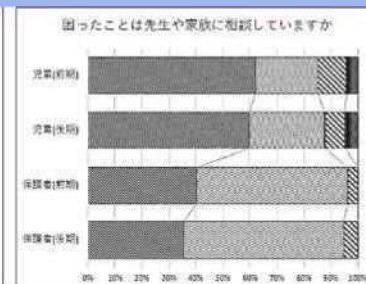
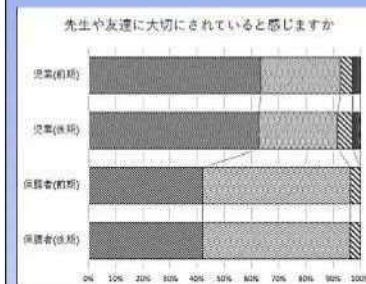


7月の調査結果を下回る項目がありました。継続した働きかけや子ども自身が達成感を実感できるような取組を進めていくことが必要だと考えています。

「聞く」項目では、7月から継続して児童と保護者ともに高い達成度になっています。家庭での働きかけや学校での指導が効果的に子どもに届いているように考えます。一方で「話す」については、「聞く」に比べて達成度が低くなっています。学習内容を縦割りグループで行うスピーチの活動「ときわぎタイム」の取組で、話し方や聞き方がその場面ではよくなってきているので、その態度を通常の授業場面へつないでいく必要があります。また、「学校の勉強はよく分かりますか」の質問項目は、7月とあまり変化はありませんでした。授業の内容が最初と比べると、難しくなっていますが、「分かる」「できる」授業展開をすることで、成果が出たのかもしれませんが。コロナ禍でペアトークやグループトークが難しかったのですが、今後も「分かる」「できる」授業展開を意識して積極的に取り組み、お互いで高め合う学習活動が展開できればと思います。



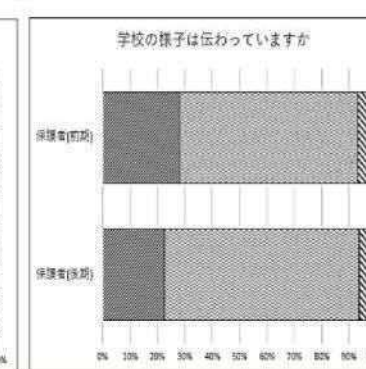
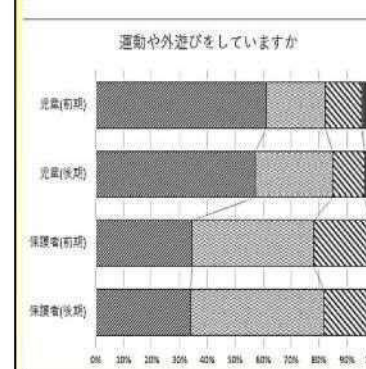
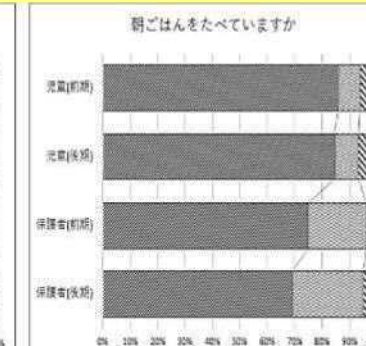
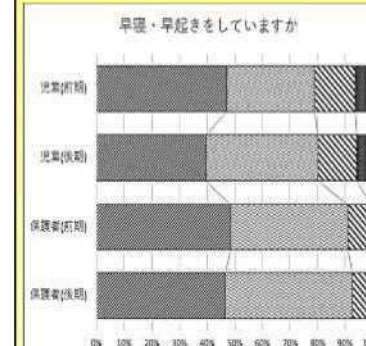
豊かな心の育成について



7月調査と比較すると、少し数値は上がっています。「相談しやすい雰囲気」については、児童との良好な関係を築くことで、7月のときよりも数値が上がった要因ではないかと考えられます。これからも保護者の方や児童がそれぞれの思いや考えを話しやすい関係をつくっていけるように、教職員が丁寧に話を聴く姿勢を大切にしたいと思います。

「挨拶」については、保護者の方の数値が7月と同様に高い値を保っています。積極的に働きかけてくださっている様子が分かります。学校でも「挨拶」については、児童会による呼びかけや挨拶運動で取り組んでいます。児童同士の関わりを通して、挨拶の大切さをこれからも伝えていきたいと思ひます。

健やかな体の育成について



家庭、地域、学校の協力が必要になります。「早寝・早起き」については、保護者の方が継続的に取り組んでくださっている一方で、児童の数値が7月と比べると【よくできている】の項目が下がっています。学校でも規則正しい生活の大切さを働きかけ続けていく必要があります。また、「朝ごはんを食べていますか」の質問も7月と比べると、少し数値が下がっています。「早寝・早起き」ができないから「朝ごはん」を食べる時間や食べる意欲が減退するのかもしれませんが。

「外遊び」については、運動委員会が大縄大会を提案することで、寒い日も運動場で大縄に取り組んでいる様子が見られたり、体育の授業の前に体を温めるために大縄に取り組んだりして体を動かす機会を設けています。

「健やかな体」は「心の成長」「学力の伸長」を支える大切な要素になります。引き続きご協力をお願いいたします。

自由記述について

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。すべての意見を載せることはできないので、特に多かった意見を載せさせていただきます。

来年度の行事(体育参観や学習発表会)の開催方法については、コロナ禍の中でどのように進めていくのか検討をしていきたいと思ひます。また、学校の設備関係での意見もあり、修繕できるところはしていきたいと考えております。

お子様のことでご意見をされていることが多く、宿題のことや友達関係のこと、楽しく通えていることなどの記述がありました。学校・地域・保護者の方三位一体となってお子様の成長のために今後も学校教育を進めていきたいと思ひます。